

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業			深谷駅行政施設管理運営事業			担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	4101	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷駅市民サービスセンター条例及び施行規則					
	小項目	1	良好な市街地・住環境形成の推進									
	主要プロジェクト	0	(未使用)									
事業概要			本事業は、ＪＲ深谷駅（ＪＲ管理部分は除く）の安全性を含めた駅施設の適切な管理を行うとともに、市民サービスセンターを設置し、施設管理及び市民等を対象に駅のギャラリーの貸し出しを行うものである。									
目的 ※何のために			市民の利便性及び文化の向上を図る。									
対象 ※誰・何を対象に			ギャラリー利用者及び駅利用者。									
手段 ※どのように			駅の修繕や補修点検業務等を行う。また、駅に市民サービスセンターを設置し、施設運営業務等を行う。									
成果 ※何を求めるか			安全かつ良好な施設を提供する。									
執行体制			<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）									
事務事業を構成する 予算事業			区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
			一般会計	2	総務費	1	総務管理費	9	地域文化振興費	深谷駅市民サービスセンター管理運営事業	3,096,453	
			一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	深谷駅施設管理運営事業	21,202,167	
本事業の 主な業務			・ 深谷駅市民サービスセンター管理運営						・			
			・ 深谷駅行政施設管理						・			
			・						・			
			・						・			
			・						・			
			・						・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・エスカレーター修繕・深谷駅大規模改修工事設計業務・管理業務委託（清掃、点検）	・エスカレーター修繕・深谷駅大規模改修工事・管理業務委託（清掃、点検）	・エスカレーター修繕・深谷駅大規模改修工事（委託）・管理業務委託（清掃、点検）	・エスカレーター修繕・深谷駅大規模改修工事・管理業務委託（清掃、点検）	・エスカレーター修繕・管理業務委託（清掃、点検）	・エスカレーター修繕・管理業務委託（清掃、点検）
事業費	予算（現額）	45,488,000	147,949,000	136,394,000	204,256,000	28,547,000	29,495,000
	決算額	40,613,876	122,006,192	20,673,772	193,683,841	24,298,620	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	108,600,000	162,600,000	0	0
		他特定財源	1,110,300	1,170,810	1,186,000	605,550	489,800
	一般財源	39,503,576	120,835,382	-89,112,228	30,478,291	23,808,820	28,523,000
人件費	従事職員数（人）	1.00	1.04	1.04	1.05	0.73	0.47
	人件費相当試算※	7,779,000	8,093,280	8,175,440	8,555,400	5,666,198	3,821,734
総事業費試算		48,392,876	130,099,472	28,849,212	202,239,241	29,964,818	33,316,734

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	市民サービスセンターの開放日	目標値	日	359	305	360	359	359	359	
		実績値	359	305	360	284	314	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			市民サービスセンターの休館日は、１２月２９日～１月３日の６日間による。/実績による						
	実績値の算出式									
活動指標 2	施設の修繕件数	目標値	件							
		実績値	6	10	12	2	4	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			毎年、修繕件数が増減するために、目標値を設定できない。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 1	ギャラリーの利用者数	目標値	人	10770	8970	10800	10770	10770	10770	
		実績値	10158	10477	9229	3377	3750	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			利用料の改定に伴い、平成２５年度から目標値を１日３０人×３５９日とする。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 2	施設管理上の事故	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0	0	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			施設利用者への安全を確保するため、目標値を０とする。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 3	施設管理上の苦情	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値	2	1	2	0	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			施設利用者へのサービスを向上するため、目標値を０とする。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 4	ギャラリーの稼働率	目標値	%	50	50	50	50	50	50	
		実績値	50.4	57.2	62.8	64.78	67.83	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			有効活用のため稼働率（利用日数／開放日）５０％を目標とする。						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	新型コロナウイルス感染症に伴う休館により、市民サービスセンターの開放日は目標に満たなかったものの、前年度比では開放日を増やすことができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新型コロナウイルス感染症の影響によりギャラリーの利用者数は目標値に届かなかったものの、前年度比では増加した。それ以外の指標は全て目標を上回ったのでこの評価としたい。
			評価者 市街地整備係長 荒谷 匠

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	ギャラリーの予約は業務委託で行っており、一定の効率性は確保しているものの、ICTを活用し利便性向上を図る余地がある。
			評価者 市街地整備係長 荒谷 匠

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	公共施設の適正配置として課題となっている、深谷駅行政施設市民サービスセンター並びにギャラリー1、2の今後の利活用について、これまでの調査結果を参考として新たな活用方法を検討していく。
達成状況及び その効果	深谷駅行政施設市民サービスセンター並びにギャラリー1、2の今後の利活用について、庁内で利活用の検討を行ったものの、利活用策の策定までは至らなかった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	深谷駅行政施設管理運営事業	担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	4101
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によりギャラリーの利用者が減少してしまった。 今後もギャラリー利用者の感染症予防に注意を呼び掛けるとともに、安全・安心して利用できる施設環境を整えていく。 また、ギャラリーについては公共施設の利活用の観点から今後の利活用を検討していく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	都市整備部次長兼都市計画課長 中島 隆				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	公共施設の適正配置として課題となっている、深谷駅行政施設市民サービスセンター並びにギャラリー1、2の今後の利活用について、これまでの調査結果を参考として新たな活用方法を検討していく。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	公共施設の適正配置として課題となっている、深谷駅行政施設市民サービスセンター並びにギャラリー1、2の今後の利活用について、これまでの調査結果を参考として新たな活用方法を検討していく。

8. 評価指標グラフ

